

機械輸出額7.4%増、19か月連続プラス

Edited By LogisticsToday On 2018/10/26

日本機械輸出組合（JMC）が25日発表した、8月の機械貿易動向によると、機械輸出額は4兆2893億円で前年同月と比べて7.4%増加し、19か月連続プラスとなった。機械輸入額は2兆940億円で9.8%増加。

JMCは「韓国・台湾向けを除く5地域向けがプラス成長となったこと、自動車をはじめ、主要な15輸出業種がプラスとなったことなどによる」と分析。為替・営業日要因が4.7%の増加寄与要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.7%増となった。

輸出額の地域別では、北米向けが3%増、中国向け12.3%増、ASEAN・南アジア向け2.8%増、EU向け8.1%増、韓国・台湾向け2.8%減、「その他地域」向け19.2%増と主要地域でプラスだった。

業種別では機械輸出額の21業種中15業種がプラス。自動車（4.6%増）、産業機械（11.9%増）をはじめ15業種がプラスとなり、前月に比べて1業種増加した。このうち、産業機械（11.9%増）、重電気機械（13.9%増）、船舶（37.3%増）など6業種が2ケタ以上の伸びとなり、機械全体では7.4%増となった

9月の輸出については「為替・営業日要因は9.4%の減少寄与要因となっているが、10月18日発表の貿易統計によると、機械輸出は1.6%減少だった」（JMC）。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/328619>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.